

碩心

題字は松井岳洋筆

No. 414
平成 24年 7月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可
碩心会
発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

詩吟雑感

青少年部長 角田有風

【詩吟の特徴は歌のようにリズム、メロディーに乗せて歌うのではなく詩文の素読(朗読)の後に特有のメロディー(節調)を加える事で詩情を表現する】(碩心会ホームページより抜粋)とあります。私たちが詩吟を勉強する時には必ず素読から入ります。詩意を理解しながら暗唱出来る位まで素読を繰り返せば自ずと自分なりに詩情を表現した素読になり、特有のメロディー(節調)が出来るのが本来の姿だと思います。



しかし個人が勝手に勉強しているのであれば何も問題はありませんが、私たちは日本詩吟学院の組織に属している以上勝手な事は許されません。

唯一の約束事は二句三息、即ち『印の位置で大きく息を吸い込むと教えられます。その他

教本に書かれている各種の符号は参考と考えてよく、吟者の感情で変えてもよい事になっています。但し合吟の場合は揃う事が必要ですから仲間内で話し合い調整しなければならぬ事は当然です。宗家制度の組織であれば師範の節調を逸脱する事は許されませんが、私たちの組織はそうではなく、時に指導者の節調でも先週と今週が違う事があります。美空ひばりの演歌が編曲次第でジャズ調になったりシャンソン調になったりするのは一脈通じるものでしょうか。総本部主催の大会を始め各種大会の際、諸先生方から間に関する話を伺います。九代目市川団十郎の言葉に「間には二種ある。教えられる間と教えられない間だ。教えて出来る間は間と書くが、教えても出来ない間は魔と書く。私は間は教えるが、魔は自分の力で探り当てる事が肝心だ」とあります。この話は詩吟にも当てはまると思えます。間がキツチリ取れた吟は聴衆を引き込みます。「間違い」と指摘されないように日ごろの勉強に励みたいものです。

行事予定

神静地区師範吟詠大会及び講習会

日時 8月5日(日) 開場9時30分

場所 小田原市民会館大ホール

碩心会夏季吟道講座

日時 8月18日(土) 開会9時40分

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

第5回相州岳風連合吟詠大会

日時 8月26日(日) 開会9時30分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

神奈川岳風連合吟詠大会

日時 9月9日(日) 開場9時30分

場所 藤沢市民会館大ホール

相州岳風連合吟道講座

日時 9月23日(日) 開会10時

場所 横須賀ウエルシティ

市民プラザ2階大講堂

碩心会秋季昇任段審査会

日時 9月29日(土)

場所 葉山町福祉文化会館大会議室

尚齒会神奈川吟詠大会

日時 10月3日(木) 開会10時

場所 神奈川公会堂

碩心会 吟詠と詩舞の集い

日時 10月27日(土) 開場10時10分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

平成24年 碩心会総会開催

日時 6月17日(日) 午後3時30分開始
 場所 逗子交流センター第2・3会議室
 出席者 42名 委任状 5名 主席率 82.5%

開会の辞のあと会長より、去る5月27日に開催された創立75周年記念吟詠大会が盛会裡に終わった事に対し会員への御礼の言葉がありました。本年は会員増強に重点を置き諸事業を遂行して行きたい、皆様のご理解とご協力をお願いしたいとの挨拶がありました。

会長が議長に選出され議案に入りました。
 (1)平成23年度事業報告の件

資料に基づき会長が説明

(2)平成23年度収入支出決算報告の件

資料に基づき有友経理部長、小野審査業務部長、小菅教務部長が説明

(3)監事より会計監査報告があり、2号議案が承認されました。

(4)平成24年度事業計画及び収入支出予算承認の件・資料に基づき内山会長、有友経理部長が説明、以上審議の上承認されました。

(5)会則の一部改正の件・75推進部廃止について内山会長より説明があり承認されました。

(6)任期満了による新役員承認の件・平成24・25年度役員が選出され承認されました。

平成24・25年度 碩心会新役員

| | | | |
|-------|------|-------------|-------|
| 会長 | 内山岳青 | 磯村岳朋 | 高橋岳之 |
| 副会長 | 上村岳章 | ◎有友嘉岳 | |
| 総務部 | 部長 | ◎小金岳智 | ◎森 祐山 |
| 審査業務部 | 部長 | 小野岳祥 | |
| 企画部 | 部長 | 鳴原隆岳 | 湯浅杏風 |
| 教務部 | 部長 | ◎高橋岳之 | |
| 広報部 | 部長 | ◎嶋津岳幸 | 菊地捷岳 |
| 経理部 | 部長 | 小菅岳倅 | |
| 青少年部 | 部長 | 大坪岳久 | 根岸岳啓 |
| 普及部 | 部長 | 伊藤岳光 | |
| 葉山地区 | 部長 | 高見湘岳 | ◎常盤仙泉 |
| 逗子地区 | 部長 | ◎柳原伶山(ホームP) | |
| 監事 | 副部長 | ◎磯村岳朋 | |
| 顧問 | 副部長 | ◎角田有風 | |
| 相談役 | 副部長 | ◎大前岳千 | 由谷悦風 |
| | 副部長 | ◎上村岳章 | |
| | 副部長 | ◎原田義岳 | ◎根岸和風 |
| | 副部長 | ◎新田香山 | |
| | 副部長 | ◎菊池岳悠 | |
| | 副部長 | ◎佐藤岳由 | 町田紀岳 |
| | 副部長 | ◎加藤岳美 | |
| | 副部長 | ◎鈴木岳賢 | ◎中山辰泉 |
| | 副部長 | ◎市川岳穂 | |
| | 副部長 | ◎加藤岳洵 | |
| | 副部長 | ◎中村岳愛 | |
| | 副部長 | ◎中村岳郵 | |

参与 杉山岳雪 村田岳瀨 宇都宮岳徳

◎は新任
 ◎立澤岳晴 ◎鈴木岳倅

逗子市詩吟詩舞連盟 50周年記念大会

真澄支部 森 岳 靚

去る4月22日、週間天気予報によると無情にも雨、やきもきいたしました。当日は幸いどうにかお天気が味方をしてくれました。

標記の大会は逗子文化プラザなぎさホールに於いて大勢のご来賓、会員のご臨席をいただき盛大に開催されました。

先ずは会員吟詠から始まり、少年少女の純粹な吟声が響き、恒例の書華道吟、式典での挨拶では平井逗子市長、田中文化協会々々長、高橋鎌倉吟舞連理事長、会の代表として内山会長から温かい祝辞をいただきました。

次に迫力あふれる賛助合吟、構成吟「逗子・鎌倉の詩情を訪ねて」では六題を詩舞を交えて行われ、ご招待の先生方の卓越した吟舞も披露されました。特に千葉、村田両先生のかくしゃくとした寿吟舞に圧倒されました。賛助合吟に葉山地区から参加して下さいました皆様、誠にありがとうございました。お陰様で記念すべき一日となりました。

神静地区吟詠大会

5月20日(日)標記大会が小田原市民会館で開催され、午前に漢詩・和歌、午後に合吟の各コンクールが26の認可団体で行われました。

小生合吟の部に出場し、結果は極度の緊張のためか音程に乱れが生じ十分な力を発揮できず残念な結果で終わりましたが、練習を通じて貴重な体験ができました。10人の心を通わせることの大切さから輪になって練習し、二句三息の大切さ、発声特に「ん」の発声法、息の止め方等を体験できました。上村先生には献身的親身なご指導を賜り深くお礼申し上げます。最後に総本部から大要次の厳しい講評がありましたので、今後の参考のためにお知らせいたします。

漢詩の部 二句三息が不十分。盗み息することを大目に見る考え方もありますが、肩の上下で明らかに分かり、息を吸い過ぎている。熟語が間延びしている。诗情不足特に詩のポイントがどこにあるか理解していない。文学作品である詩を吟じているという域まで素読をしつかり行ってもらいたい。吟題は声質に合わせる必要があり、女性の爾靈山では诗情気迫がでない。吟題・作者を言った首程で吟じていない。起句と承句間に少し間を置く。吟題・作者を言っすぐ吟じ始めており、作

者を言っ自分の体に残っている空気を全部出し切り、その後腹から空気を吸ってその空気を落ち着かせて初めて吟じ始める必要がある。五言の落としが不十分である。

合吟の部 過去の神奈川県本部の面影が全くなく声が出ていない。言葉の羅列でしかない。合吟は合わせるだけの吟であってはならない。これでは詩吟の衰退につながる。独吟を一生懸命やって10人が揃った時に初めて合吟とすべきです。母音「あ」が「お・え」になっっている。「某楼に飲す」の「天下」は迫力に欠けた。合わせるためにブツギリになっている。

和歌の部 実力伯仲していたがもう少し上のレベルでの伯仲を希望する。和歌は優雅な中にも言葉の大切さと事のつながりの大切さがある。天の原が「あまののほら」となっっている等全体に言葉がのんびりし過ぎる。序詠はもう少しさらっとしてよい、序詠で感情を入れ過ぎ本詠で感情が薄らいでいる人もいた。序詠の余韻が長く本詠との区別がつかない。序詠と本詠の間にコトトン位の間が必要で「むらさめの」の「の」が何処で終わるのだろうかと思われる人もいた。若の浦が「うわかうら」になっっている人もいた。いろんな感情・情景のあるスケールの大きいものを詠ずるようになっってもらいたい。

高見

第21回青少年吟詠大会

悠吟支部 大前 岳 千
6月10日、横浜市金沢公会堂に於て青少年吟詠大会が開催されました。



吉田朋之進君 島袋泰成君

少年の部(独吟)では碩心会より島袋泰成君(小3)「九月十三夜」、吉田朋之進君(小5)「弘道館にて梅花を賞す」二人共一生懸命吟じる姿勢に感動しました。

午後は主催者、総本部理事青少年育成部長の挨拶より開始されました。中学生、高校生の独吟はさすがに素晴らしく力強い吟、诗情もあり立派でした。

去年の優勝者として我が碩心会の松浦みづきさんは「母を奉じて嵐山に遊ぶ」を詠じ、堂々と見事な吟声、会場から大きな拍手が起りました。家族吟詠では物怖じしないで吟ずる子達、笑いと温かい拍手が会場から送られました。

日本の伝統である詩吟をこれから担う青少年の皆さん大変ですが頑張っ下さい。



支部紹介

ある日の稽古風景

平松支部 村上岳 雍

平松支部の名は一色の平松地蔵のそばにある処からつけました。女性だけ三人の小さな支部です。詩吟の指導は加藤岳洵先生に月二回程お願いしています。その教場の様子は次のようなものです。

先ずお茶で口を潤しながら連絡事項等を聞き、次に発声練習をします。そのあと先生の独吟で今日は「帰雁」を吟じて下さいました。

いよいよ碩心会創立75周年の吟の練習と思いきや、和歌「防人の歌」と「露と落ち」その吟の作者や生まれた背景などについて新聞の切抜きを示しながら詩の心等を教えて下さいます。

この教場は人数が少ないので稽古半分雑談半分で云う気負いのないものです。その中で仲間の絆をしっかりとつなげ、さらにこれから生き方、老い方までも考える事の出来る実り豊かな支部になってほしいと思っています。



碩心会 第一回歩こう会

普及部 原田 義 岳

第一回歩こう会が4月14日に決定していましたが、雨で中止になり翌15日に変更され、当日は天気良好で葉山鑑摺に集合しました。

参加者12名の方々が葉山の海岸沿いを歩きあちこちに鹿尾菜が干してあり、波も静かで絶好の花見日和でした。桜花ばつと咲いた薄いピンクの木に向い精気いっぱい「桜花の詩」を吟じました。それから山の方へ向い明治時代の有名な政治家の豪邸を見学又小説家、実業界等の方々の史跡を訪ねました。最後に森戸神社で「葉山八景」を合吟しその後各々持参した弁当を食べながら葉山御用邸の素晴らしい景色を痛感しました。そして「明治天皇御製」を吟じ解散しました。

今後「歩こう会」を春秋の普及部主催イベントとして行っていききたいものです。

最後に上村副会長の各案内、説明、合吟もありの有意義な一日を送る事ができ参加者全員感謝しています。有難うございました。

会員の皆様へ

頁数の都合、止むなく次号掲載とさせていただきます。原稿があります。ご諒承下さい。

広報部

“みんな”で増やそう新会員

会員のうごき

- *入会 (7月1日付)
- 238 菊池希美子 (渚) 移籍 世岳
茅ヶ崎市円蔵2-5-6 関島ハイツ101
☎ 0467-81-4960
 - 239 櫻井延支子 (瀨朗)
横浜市栄区笠間3-2-17-103
☎ 045-513-9144 紹介者 石月岳翹
 - 240 新井洋子 (真澄)
鎌倉市小袋谷1-9-12
☎ 080-3575-9870 紹介者 水上岳昌

編集後記

去る6月17日の新年度総会に基づく新体制の下、各種事業が進行しています。今年度の最大課題は**会員増強**、詩吟は自身のストレス解消や健康増進に役立つ最高の趣味です。詩の世界を腹の底から声にして表現する楽しさを多くの方々に知って頂き入会に繋がるよう頑張ります。広報部

| | |
|-----------|-------|
| 24年7月1日現在 | 会 員 数 |
| 葉山地区 | 98名 |
| 逗子地区 | 100名 |
| 合 計 | 198名 |